

アピカホールから あなたに ボナンタゴン

祝開館25周年!

Vol.101

2021.7月-9月



9/23 (木・祝)

第149回しばぐらコンサート
和楽器オーケストラ あいおい
「邦楽・彩りキャンパス」

ありがとう25周年

第149回
しばぐらコンサート
和楽器オーケストラ あいおい

「邦楽・彩りキャンパス」

九月二十三日開催

■寄稿 松崎 晟山

ありがとう25周年

新おんがく談義

■寄稿 岡本 芳雄

音楽の話・輪・和・Wa

「アピカホール」開館25周年、

おめでとございます！

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

9月23日(木・祝)

第149回しばざくらコンサート

和楽器オーケストラ あいおい 「邦楽・彩りキャンパス」

和楽器オーケストラあいおい代表／尺八演奏家 松崎 晟山

西脇市立音楽ホール「アピカホール」開館25周年、おめでとうございます。180席で演奏者を間近に観賞することができる大変贅沢なクラシックホール「アピカホール」さんとは、10数年前からのお付き合いになります。また、4年前にアピカ和楽器教室を開講し、私自身講師として日本の伝統音楽の振興に努めることができ、大変感謝しております。

この度、「邦楽・彩りキャンパス」では、「和楽器オーケストラあいおい」（プロフィール参照）メンバーにより、9/20敬老の日コンサート、9/21観月会と市内のあちこちでミ

ニコンサートや和楽器体験を実施し、9/23アピカホールで本公演を開催いたします。地元播州織物とコラボレーションするほか、観月会ではコンサートの様子をオンラインでも楽しんでいただきます。

また、本公演では、日本の古典曲や現代作品のほか、ビッグバンドジャズの名曲、ちょっと大人なディズニメドレーをアコースティックギターの名手：小野晃弘さんと共演します。3日間で和楽器の魅力を存分に楽しんでいただけること間違いなしの企画ですので、是非、足をお運びいただければ幸いです。



出演者プロフィール

和楽器オーケストラあいおい

和楽器の魅力を伝える事を目的とし、東京藝術大学卒業生を中心に2001年結成。箏、三味線、尺八、琵琶、篠笛、能管、鼓、大太鼓など、ジャンルや流派を越えて構成する。

古くから伝わる作品は勿論のこと、親しみある作品をオリジナル編成でアレンジし、幅広いレパートリーで、コンサートや各種イベント等に出演している。全国各地で開催する公演では、様々なジャンルのアーティストや合唱団とコラボし、また、楽器体験・楽器製作ワークショップ等も同時開催している。

主な活動として、「港区芸術文化フェスティバル」に過去3回企画が採用され、延べ300名を越える区民参加者へ和楽器等を指導し、コンサートで共演。夏休みに開催される「紀尾井のようこそ邦楽」は、毎年、募集人数を越える親子の応募があり、これまでに10回実施。これらの活動をする中、参加者の小学生が箏曲の道を志し、東京藝術大学に入学するなど、伝統楽器の普及・振興に努めている。また、2018年から、原宿 hall60 で外国人観光客に向けたライブ活動（ZAKURO SHOW）を月3回程のペースで開催し、トリップアドバイザーでの東京音楽イベントで第1位を獲得。その他、公共事業、福祉イベント、国際サミット、企業イベント等、様々なシーンで精力的に活動中。

その他のイベント

- ・映画「はんなり」に於ける音楽を担当。
- ・兵庫県立芸術文化センターオープニングシリーズ公演。
- ・国土交通省 VISIT JAPAN キャンペーンに於いて、パリ、ベルリンでコシノジュンコフファッションショーと共演。
- ・羽田空港第2ターミナル内覧会に於ける演奏。
- ・浅草ルネサンス浅草寺でファッションショーと共演。
- ・MBS主催音舞台シリーズ「東福寺」「唐招提寺」「東大寺」「仁和寺」にて小編成からフル編成まで出演し、全国放映される。
- ・北陸新幹線開通記念として金沢城公園玉泉院丸庭園で毎週末開催しているライトアップショーでは、石川県の依頼でオリジナル曲をレコーディング納品し、毎年ゴールデンウィークには生演奏でライトアップコンサートを行う。
- ・2020年結成20周年記念公演を全国5ヶ所で開催。

7月4日(日)には、5月16日に予定していました「アピカ和楽器教室 第1回定期演奏会」を開催します。2017年発足の「アピカ和楽器教室」の満を持した記念すべき第1回定期演奏会です。

古典曲から現代曲、ポップスまで幅広いジャンルを楽しく演奏します。きっと今までの「邦楽」のイメージが変わると思います。

入場料無料です。この機会にぜひ邦楽にふれてみてください。

アピカホール開館25周年に寄せて

—まちの文化広場として—

アピカホール館長 吉田 明生

平成8年7月23日、市民による芸術や文化の英知と情熱が西脇市立音楽ホールを誕生させました。愛称アピカホール、本格的なクラシック音楽ホールです。

誕生に関わって下さった方、また、25年の長きにわたり支え続けて下さっている企画委員会、しばざくらコンサート実行委員会、編集委員会などの皆様、チケットを購入して下さるお方などに支えられ、励まされて25周年を迎えることができました。

また、歴代の館長様や職員の皆様には多くの喜びやその時々課題もあったと存じます。

そして25年、ボナンタゴン101号が開館月に発行となりました。

さて当ホールは身近に本物の音楽を楽しめる環境を有し、西脇市のさらなる発展にふさわしい文化の拠点として歩んで参りました。ホールの合い言葉に「聴く人と奏でる人がともに“音楽”をつくりあげるコンサートホール」とあります。まさに演じるために集い、聴くために、観るために集まるアピカホールの役割がここにあると思っています。

ところで新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年から今年にかけホールにとりまして経験したことのない未曾有の年でありました。このようなコロナ禍でも、音楽は人にやすらぎや励め、楽しみ、勇気を与えてくれます。

今後とも「みんなが集まり、楽しみ、話がはずむホール」としてまちの人たちの生活が豊かになる地域づくりの一翼を担って参りたいと思ひます。

そして、さらなる25年を目指し皆様のご要望に耳を傾けながら、培ってきましたホールの力を地域に還元しながら歩んで参ります。

今後ともアピカホールに変わらぬ温かいご支援やご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

アピカホールの思い出

しばざくらコンサート実行委員 中辻 寛子

市民会館中ホールで始まった「しばざくらコンサート」をアピカホールでも、引継ぎ永く運営に関わらせていただきました。今、思い出しても私の頭の中一杯に、とび出しそうな楽しい曲、淋しい曲、突然にうれしくなって舞い上がりそうな曲等、アピカホールの思い出がたくさんつまっています。私の人生の中で、いろいろの出来事があった時の思い出が、その曲と一緒に、ひらひら舞い上がったり、ぐったりしたり。一緒に活動した皆さんにお会いすることで、なぐさめられたり。

今は、皆さんとお会いする機会が短い程、お顔や仕草が思い出されて、少し涙が出そうになります。関わりがあった方々のお顔が、ちらちらして、すぐ近くでお話しされているような気持ちになって、その声まで聞こえてきそうです。

不思議だね！！アピカホールは、音楽の好きな皆さんや私と共に、ずっと年を重ねてきたのです。楽しくいつまでも、いつまでも。

これからも、アピカホールが音楽と共に皆さんの人が集う場になりますよう。

しばざくらコンサート実行委員

昭和53年に西脇市文化連盟の活動として、第1回コンサートが開催され、平成8年にアピカホールが開館以来、その名を引き継ぎ、ボランティアスタッフがコンサートを運営しています。

しばざくらコンサートでは、国内外の一流演奏家を招聘し、身近に音楽を楽しむ機会を提供しています。

アピカホールの思い出

ヴァイオリン奏者 堀米 ゆず子

さんと再会を喜び合う。

今回はリサイタルをやらせていただいたが、弦の響きが無理なく伝わり、ピアノとのバランスも良い。聴衆の皆さんの反応も素朴に伝わってくる。また、ここに児童の合奏団があると聞きびっくり。岩上さんにも弾いてもらって聴かせていただいた。

コロナの影響で欧米では演奏会が全くできなくなっている。ストーリーミングが増え、だんだんそれに慣れてきてしまっている。しかしながら音楽はやはり舞台の上で聴衆と作り上げるものだ。スタッフの皆さんが企画して「待ち焦られる」ものだ。そこに一期一会の出会いがある、響きがある。アピカホールの雰囲気のように。クラシック音楽として300年以上続いてきた感動を私たちは絶やしてはいけない。言葉を越えたところから音楽は始まる。

これから頑張ってください。応援しています。

堀米 ゆず子 プロフィール

5歳からヴァイオリンを久保田良作氏のもとで始め、1975年より江藤俊哉氏に師事。1980年桐朋学園大学卒業。同年エリザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初の優勝を飾る。以来ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、クラウディオ・アバド、小澤征爾、サイモン・ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねている。

世界中の音楽祭に数多く招かれ、その中にはアメリカのマールボロ音楽祭、クレメールの主宰するロッケンハウス音楽祭、ルガーノアルゲリッチ音楽祭（スイス）、フランダース音楽祭（ベルギー）などがある。室内楽にも熱心に取り組んでおり、これまでにルドルフ・ゼルキン、アルゲリッチ、ルイサダ、クレメール、マイスキー、今井信子、メネセス、ナイディックなどと共演している。2013年からイタリアのカメラータビチュナに於いて、2014年からはイギリスのケンブリッジに於いてマスタークラスを2017年まで開催した。2018年からはフランスのエクスプロヴァンでマスタークラスを開催している。

多くの国際コンクールの審査員にも招かれており、2016年5月より仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門審査員長に就任。2015年7月には、春秋社より著書「ヴァイオリニストの領分」を刊行。現在、ブリュッセル王立音楽院教授、マーストリヒト音楽院教授。

使用楽器は、ジョゼフ・ガールネリ・デル・ジェス（1741年製）。

公式ホームページ：http://yuzuviolin.com/



アピカホールの思い出

大阪音楽大学教授 バリトン歌手 田中 由也

ボナンタゴン愛読者の皆様！

ご無沙汰しております。

西脇保育所、西脇幼稚園、西脇小学校、西脇中学校、西脇高校、そして大阪音楽大学出身の田中由也です。

「とんかつとん平」の息子の方が分かりやすいでしょうか？



2018年11月11日 地元演奏家シリーズ
「田中由也&亜聖樹 OPERA MUSICAL CONCERT 2018
親娘—夢の饗宴」より

今回、「アピカホールの思い出」と言うお題を頂き寄稿いたします。

恥ずかしながら、実は一回しかアピカホールで歌ったことがないのです。2018.11.11に元タカラジェンヌの娘、亜聖樹との親娘コンサートを開催させていただきました。音楽仲間からは、とても音響の良い素敵なホールであるとの前評判は聞いていました。期待を裏切らない素敵なホールでした。

アピカホールの素晴らしい点は何よりも吉田館長以下スタッフさんのお人柄と芸術に掛ける情熱の深さに尽きると思います。微に入り細に入りのお心遣い！徹底したおもてなしの気遣い！

そして、ホールスタッフの皆さんが地域の皆さんと密接な関係を築かれて西脇の文化底上げに努力をなさっているお姿！出身者として誇らしくもあり頭の下がる思いでした！

これからも益々のアピカホールのご発展を祈りつつ西脇の文化向上のために微力ながら応援を続けていきたいと思っています。

田中 由也 プロフィール

大阪音楽大学卒業。同大学院修了。
本格的なオペラデビューは故朝比奈隆指揮の「ドン・カルロ」のロドリゴの大抜擢である。以後数多くのオペラの主役を演唱して迫真の歌唱・演技で絶賛を博している。
ベートーヴェンの「第九」「荘厳ミサ」、モーツァルトの「レクイエム」「戴冠ミサ」などのソリストを数多く務める。
合唱の世界でも精力的に活動しており、混声合唱団カメリア、西山ハニーコール、天王寺区民合唱団の指導。
大阪、神戸両フロイデ合唱団のヴォイストレーナーを務めている。
また、NHK全国学校音楽コンクールをはじめ、各種コンクールの審査員を務めている。
現在、大阪音楽大学教授。関西歌劇団副理事長。特定非営利活動法人 関西芸術振興会理事。



アピカホールの思い出

ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロ制作
芸術文化観光専門職大学助教
井原 麗奈

アピカホールとの出会いは20年前に遡ります。初めての訪問は2002年に兵庫県内の公共ホールのインタビュー調査をした時でした。ホールの職員と住民が一緒になって、地域に愛される施設にするためにはどのように工夫すれば良いかと試行錯誤している姿に、公共ホールの未来と希望を見出しました。その後、現在に至るまで日本の公共ホール運営が私の研究テーマとなったのですが、最初の出会いがアピカホールであったことに深い感銘を覚えます。

その後は偶然にも友人でビジネス・パートナーでもあるチェリストのヘーデンボルク・直樹がアピカホールで多くの出演機会を与えていただきましたので、聴衆としてコンサートを楽しみました。彼は2004年8月にピアノとのデュオ、2005年3月にウィーンフィルのメンバーと弦楽四重奏で出演しました。この時、ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲 第3番へ長調 op.73はアピカホールだけの上演で、とても豊かな贅沢を感じました。

2009年10月と2014年10月、ヘーデンボルク・直樹はピアノ四重奏団アンサンブル・ラロとして出演し、私は制作スタッフとして帯同しました。2014年に「アピカホール弦楽アンサンブル教室」の子どもたちと共演したバッハのメヌエットのメロディーとハーモニーは今でも耳に残っています。スタッフの皆さんが子どもたちのためにと様々な心づくしをされていたのが印象的で、子どもを大切に育む西脇の風土を感じ、心が温くなりました。いつも楽屋に用意してくださる美味しいお弁当も忘れ難い味です。

現在私は今年度4月に豊岡市に開学した芸術文化観光専門職大学でアートマネジメントの教鞭をとっています。アピカホールで永きにわたって育まれた音楽と子どもたちへの愛情を事例として紹介しながら、兵庫県がより芸術的で豊かな地域になるよう、県内の様々な施設と連携しながら盛り上げたいと考えています。これからもアピカホールと地域のみなさんの一層のご繁栄をお祈りしています！

井原 麗奈 プロフィール

近代日本と植民地朝鮮の公会堂の設置経緯、運営方法等の比較から文化施設の歴史的意義や公共性について研究している。京都芸術センターのアートコーディネーター、神戸大学大学院国際文化学研究所地域連携研究員、ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロ、神戸市室内合奏団のスタッフとして様々な分野の催事のマネジメントに携わってきた。神戸女学院大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)。静岡大学地域創造学環アート&マネジメントコース准教授を経て2021年4月より現職。



アンサンブル・ラロのメンバーと井原麗奈
(右から2人目)



7月～11月までの催し

アピカホール開館25周年記念事業

7月4日(日) 14時開演(13時30分開場)

アピカ和楽器教室 第1回定期演奏会

入場無料 ※5月16日の振り替え公演です

7月11日(日) 14時開演(13時30分開場)

第17回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～ジャズ ヒットパレード～

♪ グレン・ミラー、ベニー・グッドマン、ボーカル曲 ほか
入場料 500円(駐車場代別途)

7月22日(木・祝)・23日(金・祝)・24日(土) 9時～17時

アピカでスタインウェイ 2021

昨年ご好評いただいた「アピカでスタインウェイ」！今年も開催
します♪ アピカホールの誕生日、7月23日を含む3日間です。
プロと同じ舞台上で同じピアノを弾いてみませんか？

【参加料】30分／2,000円 (最大2時間まで利用可)
当日ご精算ください



申込書はこちらから
ダウンロードできます。

8月28日(土) 午前の部／午後の部

♪第25回「リトルピアニストの大っきなコンサート」

入場無料

西脇市立音楽ホール「アピカホール」が7月23日で25周年を迎えます。
開館当初からスタートした「リトルピアニストの大っきなコンサート」も25回目を迎えます。
このコンサートは、アピカホールにあるドイツ製のスタインウェイピアノを広く皆さんに弾
いていただきたいという願いからはじまりました。

“演奏家の卵”たちがこれからも音楽に興味を持ち続け活躍してくれることを期待し、また、
自分の演奏だけでなく、他の出演者の演奏を聴くマナーを身につけることもねらいとして開催
しています。

第1回目には「リトルピアニストによるピアノ・リレーコンサート」のタイトルで、473名
のみなさんに3日間かけてコンサートに出演していただきました。

この25年の間に、かつて出演者だったお子さんがピアノの先生となり、「リトルピアニストの
大っきなコンサート」の出演者の指導をしていたり、出演者の保護者としてアピカホールに足
を運んでくださったりと、次の世代に繋がるようになってきました。

前回までで、約1100名のリトルピアニストたちに支えられここまでコンサートを開催する
ことができました。同時に、コンサートとリトルピアニストたちを支えてくださった、西脇市近
隣を拠点にピアノ教室を主宰しておられる先生方で構成されている「リトルピアニストたちを
応援する会」の皆様にも感謝申し上げます。

今年も8月28日(土)に約70組の出演者が練習の成果を皆さんに披露します。ぜひあたたか
い拍手を子供たちに！

【スタインウェイの歴史】

スタインウェイ&サンズは、1853年にドイツ移民のヘンリー・エンゲルハート・スタインウェイ
により、マンハッタンヴァリックストリートに設立されました。その後30年間以上にわたり、ヘ
ンリーと息子たちはモダンなピアノを開発。以来、彼らは、熟練の職人から弟子へ、世代から世代
へと受け継がれる技術を駆使して、1台ずつ製作してきたのです。スタインウェイは、プロのアー
ティストの98%によって選ばれるピアノとなりました。(スタインウェイ&サンズHPより参照)

9月23日(木・祝)

第149回しばざくらコンサート

和楽器オーケストラ あいあい「邦楽・彩りキャンバス」

入場料 一般 3,000円 高校生以下 1,500円(当日同額)

10月23日(土) 14時開演(13時30分開場)

♪第18回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～日本の叙情歌特集～

入場料 500円(駐車場代別途)

プログラム ♪ 荒城の月 ♪ 殖生の宿 ♪ この道 ♪ からたちの花 ほか

11月7日(日) 14時開演(13時30分開場)

Stella Apika Concert

アンサンブル編 ～歌と弦とピアノで～

入場料 一般 1,000円 高校生以下 500円

出演 ソプラノ：梅田亜紀 中辻史子
ヴァイオリン：久保ふみ ヴィオラ：山本英恵 ピアノ：高木美香

プログラム

♪ 歌の翼に(メンデルスゾーン作曲)
♪ ピアノトリオ《ケーゲルシュタット》K.498(モーツァルト作曲)
♪ オペラ《カヴァレリア・ルスカティーナ》より「間奏曲～Ave Maria～」(マスカーニ作曲) ほか

11月14日(日) 14時開演(13時30分開場)

県民芸術劇場

アピカホールで奏でる弦楽の調べ

入場料 一般 2,000円 高校生以下 1,000円

出演 ライツ室内管弦楽団 チェンバプレイヤーズ



ピアノ調律のはなし

♩3 ルネサンス時代からバロック時代に編み出された『鍵盤楽器調律法』のはなし

ピアノ調律師 岡本 芳雄

私の母国語(?)は西脇の播州弁です。日本中に、優しい感じのするもの、厳しい感じを受けるもの…、色々なニュアンスを持つ言葉が沢山ありますね! Eテレで「雨ニモマケズ」を各地のお国言葉で朗読する番組がありました。宮沢賢治の育った岩手県の言葉では、作者の気持ちや風景がぐっと心に染み入って来たのでした。映画やドラマでも登場人物に応じた多様な方言が自然に耳に入ってくるようになりました。それぞれに味わいがあり、人となりもぐっと身近に感じられます。

前回、ドレミファソラシドの音階に於いて微妙な音の高低が様々なニュアンスを醸し出すお話しをしましたが、調律法を言葉に例えると、『平均律』は標準語、色々な『古典調律』は方言と言って良いでしょう。

現代の楽器製造で主流の『平均律』は、1オクターブに12個の音を均等に配置した音律で、標準語の成り立ちに似て都会的で洗練された感じがします。平均律が普及し始めたのはピアノの構造がどんどん変化していく1800年代初め～中頃のようなようです。また、SPレコードから聴こえるピアノの響きが概ね平均律の特徴を持つことから、1900年頃から盛んになったピアノ録音の最前線ではすでに平均律が定着していたと思われます。

一方、ルネサンス以前のスタンダードと考

えられる『ピタゴラス音律』は、単旋律音楽にマッチする「純正五度の音程」で構成され、メロディーの伸びやかさが心地良い反面、三度(ド-ミなど)の音程が広い(ドに対してミが高い)ので、ドミソ・ファラド・ソシレの和音音楽には向きません。

巨大な鍵盤楽器で建造物とも言われるパイプオルガンが人気を博すルネサンス時代は、三度(ド-ミなど)の調和を重視した『ミーントーン』が好まれました。どっしりとした和音は厳格さをも持って響きますが、実は五度(ド-ソなど)は濁っています。また、#やbの多い調に狂った和音が出来てしまったり半音階がギクシャクしたりする不具合を抱えます。それでも、古いパイプオルガンなどにその特徴が残されているものがあり、近年再び古楽の演奏で使われています。

チェンバロが大流行するバロック時代に入り、#やbが5つも6つも付く曲が作られるようになると、12の音高をもっと微妙に調整し始めます。王様や貴族らに愛されたチェンバロは、朝と昼の少しの温度差によってさえ狂いが目立つので、弾く人が自分でも調律をしなければなりません。そんな中、きっと勘の良い人は、調律のついでに「ミーントーンの不具合の緩和」にチャレンジした事でしょう。ヴェルクマイスターやキルンベルガーな



ど音律の研究者が出たのもこの時代です。彼らによって『ウェルテンペラメント』と総称される数々の素晴らしい調律法が編み出されたのです。それには共通性があり、白鍵中心の調ではミーントーン音律、黒鍵中心の調ではピタゴラス音律の特徴を持ち、その間の調は響きのパレットがグラデーションに並んでいます。この「多様性を持った鍵盤楽器の調律法」は、「調性感」として後々の時代まで影響を与えたようです。

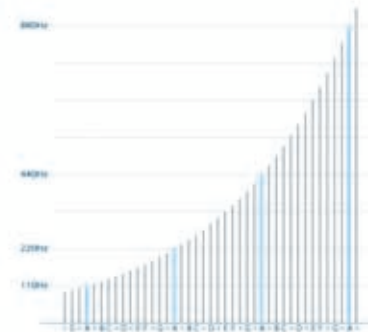
鍵盤楽器の流行がパイプオルガン→チェンバロ→フォルテピアノ→現代ピアノへと移っていく過程で、時代や人の嗜好に合わせて『調律法』も変化しながら、それに合わせた名曲が沢山作られた事が分かってきています。『古典調律』から『平均律』までそれぞれの音楽に合った『調律法(≒言葉)』を意識して演奏する事で、その味わいが再発見されたり、ニュアンスがぐっと引き立ったりするのです。

※次回は、最新の研究による「バッハの調律法」のお話です

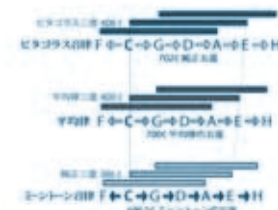
プロフィール 岡本 芳雄 (おかもと よしお)

小中学生の頃、時計・カメラ・オルゴールなどの分解に没頭。高校1年生ではピアノを分解する。このころから調律を独習し始め、調律の世界に強い関心をもつ。国立音楽大学別科調律専修修了後、東京ピアノ製作所・斎藤ピアノ調律所を経て、1984年故郷・西脇で独立し現在に至る。

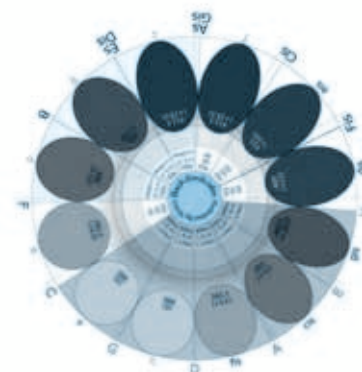
(一社)日本ピアノ調律師協会会員、国家資格一級ピアノ調律技能士



1、平均律の美しい放物線



2、七音音階三様



3、十二音相環図によるバッハの調律法

8月8日(日) 参加者募集!

ヴァイオリン・ワークショップ

初心者大歓迎! 楽器がなくても参加できます♪
夏休みの思い出にヴァイオリンを弾いてみませんか?

8月8日(日) 詳細は、申し込み締め切り後にお知らせします。

参加料 1,000円 (当日にご持参ください)



申込書はこちらから
ダウンロードできます。

【ところ】 西脇市立音楽ホール「アピカホール」

【対象】 小学1年生～中学3年生まで

【申込み】 申込書に必要事項をご記入の上、

7月25日(日)までにアピカホールへ

お申し込みください。(FAX可)

申込用紙はホームページよりダウンロードできます。

振り替え公演のお知らせ

10月31日(日) 14時開演 (13時30分開場)

入場料 一般3,000円 高校生以下1,500円

アピカホール開館25周年記念事業
第148回しばざくらコンサート
「アンサンブルofトウキョウ」

4月29日(木・祝)の振り替え公演です。
4月公演のチケットをお持ちのお客様は、
10月公演でもお使いいただけます。



ボナンタゴン会員カードについて

ボナンタゴン会員の方に「ボナンタゴン
会員証」を4月発行号に同封しております。

このカードは、コンサートチケットご予約時やコンサート来館時に番号をお伝えいただくことで、毎回の個人情報の提示が省略できます。

また、西脇ロイヤルホテルレストラン入店時にご提示にてお食事代金 **10%引** 優待。

会員登録をご希望の方はアピカホールにご連絡ください。



1階レストラン (ランチメニュー一例)

日替わりランチ(コーヒー付)..... 平日限定 ¥1,100
サーフ&ターフ(先着10名様)..... 平日限定 ¥1,320
ホリデーランチ 土日祝限定 ¥1,210
シェフ自慢のピラフ又はスパゲッティ(サラダ付) ... ¥946
黒田庄和牛のビーフカレー(サラダ付) ¥1,210
四季の彩り弁当 ¥2,420
おすすめ国産牛陶板焼き膳 ¥3,278

ボナンタゴン会員カードを入店時ご提示ください。
上記お食事代金 **10%引** 優待
※上記の料金は全て税込表記になっております。

朝食 6:45~9:45 (L.O.9:15)
昼食・軽食 11:30~14:30 (L.O.14:00)
・食事は14:00ラストオーダー
・アピカホールコンサート開催日は17:00まで喫茶対応
ディナー 17:30~21:30 (L.O.21:00)

ボナンタゴン会員の皆様へ

おかげさまで
25周年を迎えました

宴会・結納・結婚式・披露宴・食事会・パーティー
同窓会・会議セミナー・展示会・法要 等承ります。

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

ボッシュ
ビルトイン食器洗い機

予洗いをしないで
しっかり洗える
洗浄力

お皿から鍋まで
まとめて洗える
収納力

深夜に使用しても
気にならない
静音性

株式会社 藤田幸三商店 西脇市高松町633-18 ☎0120-165-995
TEL.0795-23-5995 FAX.0795-23-6564

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者

WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

和気建設 株式会社

☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

ISO 9001
JQA-QM5608

アピカホールが出来た時、こんな田舎にすごいホールが出来たと驚いたのを覚えています。あれから、もう25年。早いものです。

私はクラシック音楽が好きで、これまでアピカホールで開催されたピアノ、バイオリンなど数々のコンサートを聴きに行きました。クラシック音楽だけではなく、これまでに色々な催しがありま

したが、中でも一番記憶に残っているのが、『ボナンタゴン Vol.100』でロイヤルホテルの中川さんが触れられていた平成16年11月に行われた「桑名正博さんのシークレットライブ」です。これは、(協)西脇商連の加盟店で1000円以上お買い物された方の中から抽選で招待という夢のようなイベントで、ラッキーな200名が桑名さんの歌を生で聴くことができました。当日、司会をしていた私は、舞台のそ

でで聞いていましたが、大変感動したことを覚えていました。

アピカホールは小さなお子さんのピアノ発表会から一流音楽家の演奏も楽しむことができる地元に愛されるホールです。これからも素敵な音楽を聴かせ続けてください。25周年本当におめでとうございます！

(西脇市在住)

音楽の話・輪・和・Wa

西脇商工会議所
勤務
山口 千文

「アピカホール」開館25周年、おめでとうございます！



編集後記

三度目となる緊急事態宣言が兵庫県にも発出されました。おうち時間が再び増えました。家の掃除をしていたら、レコードを見つけて嬉しくなりました。懐かしいですね。今や音楽はスマホやパソコンでインターネットからダウンロードして聴く時代になりました。

しかしちょっと前まで、CDを買うのが当たり前でした。その前はカセットテープやMD、レコード・・・など。きっと同世代の人たちはみんなそうだと思います。アナログもいいもんですね。レコードに針を落とした瞬間、部屋の中は音楽に包まれ、あたかもセッションしているような気分になったりします。

忙しい日々の中では気づかなかったことが、こんなときだからこそ再認識されました。世の中がコロナ禍に陥る前は、家と会社を往復するだけの毎日を送っていた人も多かったように思います。

ゆっくり本を読んだり料理したり音楽を聴いたりリモートで学習したり・・・。時間の使い方を、新しい生活スタイルで過ごされてる方も多いかと思います。(green)

●本館ギャラリー

第21回企画展「増田妃早子 — 語りなおす夢として...」展
～8月22日(日) [後期]

風景や花等、身近なモチーフを描いた油彩や紙作品を展示し、眼差しをかたちにする作家の不思議な絵画の魅力に迫ります。

第22回企画展「堀尾昭子の現在」展
9月19日(日)～12月5日(日)

幾何学的造形とシンプルな色彩によって構成された結晶のように凝縮されたユニークな作品を、新作を含めて展示！小さくとも詩的で独自の芸術を極める一人の独創的なアーティストの世界に迫り、その空間と芸術の魅力を紹介します。



堀尾昭子
(無題) 2020年

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)
入館料 大人300円(250円)、シルバー250円(200円)、
高・大学生200円(150円)、小・中学生100円(70円)
※()内20名以上の団体割引料金

※障がい者割引有
※ココロカード利用可
※65歳以上の方は、年齢確認のできるものをご提示ください。
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
※8月10日(火)臨時開館
※展示替え(8月23日(月)～9月18日(土))

西脇市
岡之山美術館
TEL.0795-23-6223

●アトリエ

ユニークな表現で独自の世界を展開する現代美術家の個展とグループ展をシリーズで開催。

アトリエ個展シリーズ

- VOL.4 ●「竹田 剛 - Festpunkt beobachtung」展
～7月11日(日)
VOL.5 ●「立花千栄子 - だんだん透明になってゆく」展
7月13日(火)～8月1日(日)
VOL.6 ●「荻野沙紀」展
8月3日(火)～22日(日)

アトリエシリーズ

- VOL.1 ●「和田直子」展
9月20日(月・祝)～10月10日(日)
VOL.2 ●「ほんくら会の「四人の肌」」展
(椿崎和生・土師清治・松原三郎・山下克彦)
10月12日(火)～10月31日(日)
VOL.3 ●「水垣 尚・岡本和喜」展
11月2日(火)～11月21日(日)

※アトリエ入館無料 ※各会期の最終日は午後3時まで。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

西脇市市民交流施設開館記念事業

響け！輝け！日本の中心から！

第1回 ミュージックベル・トーンチャイム
全国コンテスト

★入場無料★

本選

★参加者募集中！★

♪募集締切 8月3日(火) 必着

第1次選考はDVDによる選考です。
演奏者の心が一つになった作品を
ぜひご応募ください！

内容・募集要項等は右下のQRコード
または西脇市HPよりダウンロードしてください。
西脇市HP <https://www.city.nishiwaki.lg.jp>

♪と き

10月24日(日) 13時開演

♪と ころ

西脇市市民交流施設 Órinasホール
〒677-0043 西脇市下戸田128-1

♪申込み・問い合わせ 〒677-0015 西脇市西脇790-14
播磨内陸生活文化総合センター ドウジアム内
ミュージックベル・トーンチャイム全国コンテスト事務局
TEL: 0795-22-5715 E-mail: bunka.sports@nishiwaki-cs.or.jp

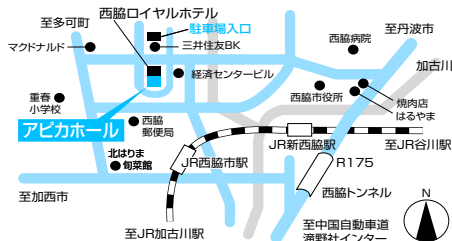


アピカホール 催しガイド 7月～10月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催 物 内 容	時 間	入 場 料 等	主 催 ・ 問 合 せ	特集記事
7/4(日)	アピカホール開館25周年記念事業 アピカ和楽器教室 第1回定期演奏会	14:00開演 (13:30開場)	入場無料	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
7/11(日)	アピカホール開館25周年記念事業 第17回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～ジャズ ヒットパレード～	14:00開演 (13:30開場)	500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
7/22(木・祝) 23(金・祝) 24(土)	アピカホール開館25周年記念 アピカでスタインウェイ 2021 (事前申し込みが必要です)	各日 9:00～17:00	A:30分 2,000円 B:60分 4,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
8/1(日)	ピアノ&オーボエ発表会	10:30～12:00	関係者	藤原 小織	
8/8(日)	アピカホール開館25周年記念事業 ヴァイオリン・ワークショップ	詳細は、申し込み 締め切り後にお知 らせします。	参加料 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P12
8/28(土)	アピカホール開館25周年記念事業 第25回 「リトルピアニストの大っきなコンサート」	午前の部 午後の部	入場無料	アピカホール ☎0795-23-9000	P8-9
9/23(木・祝)	アピカホール開館25周年記念事業 第149回しばざくらコンサート 和楽器オーケストラ あいおい 「邦楽・彩りキャンパス」	未 定	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2-3
10/23(土)	アピカホール開館25周年記念事業 第18回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～日本叙情歌特集～	14:00開演 (13:30開場)	500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
10/31(日)	アピカホール開館25周年記念事業 第148回しばざくらコンサート 「アンサンブルofトウキョウ」 ※4月29日の振り替え公演です	14:00開演 (13:00開場)	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P12

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。



交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き

「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

■編集：ポナンタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナンタゴン：こんにちは
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2021年5月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナンタゴン 検索 ホームページでもご覧いただけます。